

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

弊社は、住友の事業精神を踏まえ、「我々は世界の変化を先取りし、独自性のある自由な発想で驚きを提供し、自らも成長し続けることにより、地球と人々の暮らしに潤い（URUOI）を与えます」をグループ企業理念とし、独自性に富んだ高度な技術を駆使した特色のある質の高い製品とサービスを提供し、持続可能な社会の形成に貢献します。また、事業の推進にあたっては、レスポンシブル・ケアの精神に従い、最優先課題として以下の事項に取り組みます。

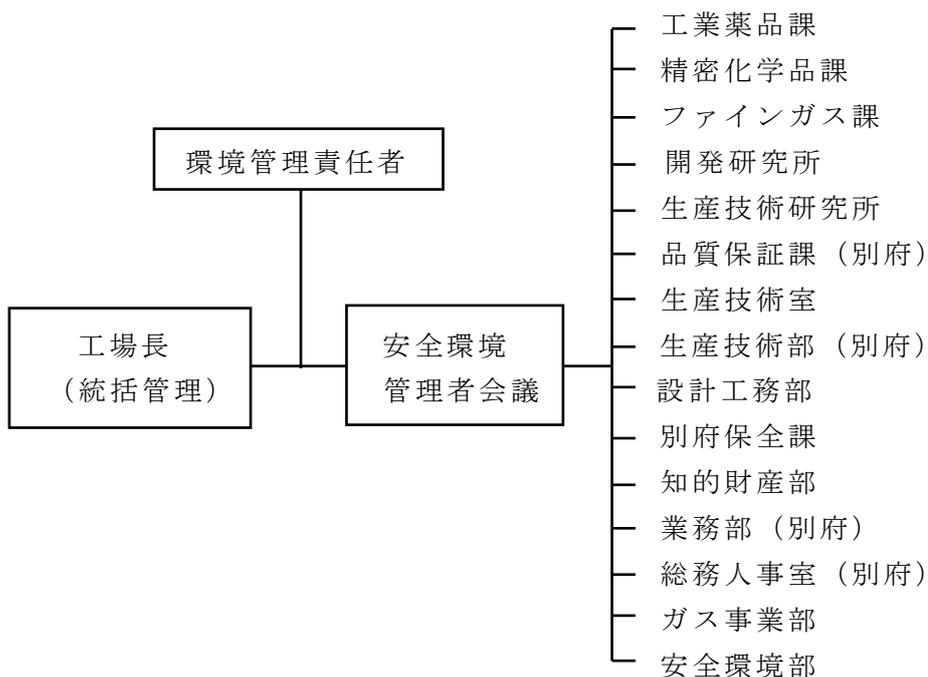
1. コンプライアンスを基本として、企業の社会的責任を果たすことにより、社会からの信頼を高め、安心を提供する。
2. 環境マネジメントシステムを効率的に運用し、日々の改善、技術改革に努める。
3. 効率的な生産活動の推進と環境にやさしい原材料への転換に努め、製品の開発から廃棄に至るあらゆる過程において、環境負荷の低減を行い、地球環境との調和を図る。
4. 活動状況を社会に公表し、株主・取引先・地域社会等、全てのステークホルダーとのコミュニケーションを行う。

年度毎の計画および活動結果は、弊社のホームページ、CSR報告書等により公表いたします。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

以下の環境保全活動に関する管理組織を推進母体として活動いたします。

（責任者：所長、部長、課長、チームリーダー）



別紙 2

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
自動車公害対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原材料調達で最適な輸送手段（貨物列車、船舶など）を採用し、帰り便を有効利用している 2. 車通勤を減らすため、社用通勤バスを利用 3. 出張用、広報用車両に、電気自動車を使用 4. 朝の定期立番で、通行ルート、交通マナーのチェックを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流部門で輸送管理、社内研修を継続する ・ 社用車更新時に電気自動車を導入していく
化学物質対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高濃度P C B使用製品の更新完了 2. 有機溶剤、騒音等の作業環境測定を実施 3. 工場排水の連続監視（連続監視計測機器の異常を未然に防ぐため、定期点検を継続している） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高濃度P C B廃棄物の処分完了 ・ 排水監視を安定させるため、定期的に排水管の洗浄管理を行なう
エネルギー対策	<p>エネルギー使用量は、前年より約4%増加（生産数量が前年より約4%増加）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 蒸気回収による余剰蒸気の再利用 2. 赤外線モニタで点検し、断熱不良箇所の補修を実施 3. 照明器具をL E Dへ更新（外灯、蛍光灯 計195灯） 	<p>以下の継続取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高エネルギー原単位プロセスの計画改善 ・ 高効率電気機器への更新 ・ 節電対応
廃棄物対策	<p>廃棄物発生量は、前年より約4%増加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自社焼却処理による外部委託量の削減 2. 処理委託先の増加によるリスク分散を実施 3. 分別徹底による埋め立て量の削減 4. 電子マニフェストによる外部委託廃棄物の適正管理（許可有効期限、処理完了の確認） 	<p>以下の継続取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生量の減少（有価物化、リサイクル、分別徹底等） ・ 埋め立て量の減少
緑化対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑地樹木の計画的剪定による維持管理 2. 工場内緑地帯の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続取組 ・ 緑地帯の整備
グリーン購入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顧客からの環境影響調査に関する回答 2. 再生紙の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続取組
環境マネジメントシステム	<p>第5回更新後第1回維持審査より、地区単位の審査に変わったため、2020年度は姫路地区が受審</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムの継続的改善 2. 内部環境監査員養成研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度は、別府地区が受審する
環境教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工場従業員へ瀬戸内海の栄養塩、フロンの法改正に関する集合教育を実施し、環境意識の向上を図った 2. 社内掲示、管理者会議などで環境活動を啓蒙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海域へのプラスチックの影響、省エネ管理に関する教育を実施する
地域社会への参画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合防災訓練を実施（行政、地域への公開は、コロナウィルス感染防止の対応により中止） 2. 構外清掃、播磨町夏休みおもしろ教室での学童教育も、コロナウィルスへの対応で中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を見ながら、工場周辺の構外清掃活動等の行事を継続して計画する
環境コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. C S R 報告書の発行 2. 自社産業廃棄物焼却炉の維持管理情報を毎月ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続取組